



ノコンギク

# 松浦 査戦メロ!



## ・戦争法強行から1年・ いま声をあげなければ!



雨の中アピールする市民

みなさん頑張りましたよ!と力強く訴えていました。「生活と健康を守る会」の神田優さん、共産党市議の松浦敏司さんもスピーチしました。又、16日には市民団体「平和の願いを網走から」が映画『不思議なクニの憲法』の上映会が開かれ鑑賞した市民は「憲法への確信をさらに深めました。」と話していました。市民団体の活動は生き長く続きそうです。

「ストップ!戦争法網走の会」は、17日(土)気温12度の寒い霧雨のなか定例の宣伝行動を行いました。新しく作成した「南スーダン、自衛隊員・青年を戦場に送らせない」の横断幕を掲げました。自衛隊の街とも呼ばれている千歳市の市民団体『ピースアクションinちとせ』の呼びかけにに応えたものです。団体は「南スーダンはいつ犠牲者が出てもおかしくない。即時撤退を政府に求める行動を」と訴えています。全日本年金者組合網走支部の鈴木英子さんは「年金資金に大穴をあけ、憲法を壊す安倍政権は許せない。南スーダンは現実の危険です。市民の



質問する松浦議員

## 松浦議員の一般質問

13日から一般質問が始まり、松浦議員は①ごみ問題②学校給食③大曲湖畔園地の3項目の質問をしました。ごみ問題は6月議会で提案され文

いま、私は20日の決算審査特別委員会での質問(水産業費、漁港費、土木費、網走港整備、能取整備、下水道、水道企業会計、市民活動費、国保会計、後期高齢者医療)準備をしています。委員会は16日から始まり20・21日で事実上審査は終了し、26日に取りまとめをして27日に討論を行い認定するか否かを採決する日程になっています。みなさんのところに「民報

あばしり」が届くころには特別委員会の質問が終わり、ホッと一息ついているころだと思います。9月議会が始まったころは暑い日が続いていましたが、今では朝夕すっかり寒くなり、陽が昇るのが遅くなり陽が落ちるのは早くになりました。暑さ寒さも彼岸まで、ことわざ通り季節は流れていくのですね。これからも引き続き冬に向けて頑張ります。

教民生委員会での審査が議会終了後も閉会中審査を行ってきましたが、9月9日の文教民生委員会で全会一致で原案可決しました。松浦議員は、6月議会終了後に各地域で後援会のみなさんと、市の担当者を呼んで「宅配トーク」を開いてきました。分別方法や料金について説明を受け、質問・意見もたくさんいただきました。松浦議員は、文教民生委員会の審査の結果を受けて、市民のみなさんからいただいた意見を基に①ごみの持ち込みの問題は、何よ

りも処分場を受け入れてくれた明治・文化・向陽ヶ丘地域のみなさんと市の約束事である「交通量が増え交通事故や騒音で住民に迷惑をかけること」を守らなければならぬ。そのため何が必要かを考えて持ち込み車両を制限する必要があります。②使用済み紙おむつ類は、できるだけ早く再資源化や埋立以外の方法を取り入れる。③容器・包装プラスチックと回収されないプラスチックへの対応、拡大生産者責任について国への働き掛けをすべきだと質問し提案しました。

## 流氷

▼ユニセフが最近未就学率が高い上位10か国で計1800万人が学校に通えていないと発表した。「絶

対的貧困」と言われる途上国では紛争や自然災害、不十分な医療、暴力、飢えなどが私たちの想像を超えて進んでいるようだがその背景には学ぶ権利(教育)を奪われているからだという。では日本はどうだろうか▼先日NHKが「未来のために」のタイトルで21歳大学生の生涯を追っていた。彼は生活費を稼ぐためにバイトでホストをする。彼の給料は33000円、とても生活できる額ではないもう少し収入を得ようと仕事に没頭し(中略)やがて死に追いやられるといった痛ましい映像が映し出されていた。彼の両親は輝いた人生を送るようにと輝(ライト)と名付けた。だが人生の途中で光を放たず消えた▼今、日本は普通の生活ができない「相対的貧困」が進み貧困率はどんどん高くなっている。テレビでは楽しい談笑しながら道ゆく若者やグルメを楽しむ人のゆったりとした光景を目にするがあの私たちの懐具合は?なんて思ったりする。少ない年金で節約を余儀なくされている私にはエゴかも知れないが難病や飢えで苦しむ子どもへの募金まで手が届かない。▼「国民を守る」といいながら弱者切り捨てを進める安倍政権、みんなの力で退陣させ政治を変えないと貧困率はどんどん上昇するでしょう。(U)